



直方市議会議員

やすなが浩之

スピード
誠意あり

議会報告書

《令和2年6月定例会》

本会議

令和2年度直方市一般会計補正予算

可決

《議案第61号 令和2年度直方市一般会計補正予算（第4号）》

【新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業：1億7,878万6千円】

- ・庁舎感染拡大防止用備品等購入費：281万4千円
- ・テレワーカー向けサービス環境整備事業：1,706万7千円
- ・確定申告における申告者の混雑回避事業：54万3千円
- ・インターネット口座振替受付事業費：369万6千円
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止事業費補助金：660万円
- ・各種証明発行スマート申請システム導入事業費：700万円
- ・コンビニ交付クラウドシステム導入事業費：3,564万円
- ・遠隔育児相談等支援事業費：157万8千円
- ・市内医療機関等への感染防止物資提供費用：303万6千円
- ・直方市先進的IT技術実証事業補助金：500万円
- ・プレミアム商品券発行事業費補助金：3,750万円
- ・学校からの遠隔学習、会議機能等の強化事業費（小中学校）：828万6千円
- ・GIGAスクール補助対象外端末整備事業（小中学校）：4,850万4千円
- ・校務継続環境整備事業：43万円
- ・文化施設管理委託費：109万2千円



【福岡県緊急短期雇用創出事業：607万2千円】

- ・男女共同参画センター管理委託料：212万6千円
- ・市税の徴収猶予及び減免申請事務対応：97万7千円
- ・GISを活用した公園施設等の現地調査及び施設台帳のデータ化対応：97万7千円
- ・オンライン学習環境整備事業補助業務対応：48万9千円
- ・中央公民館管理委託料：150万3千円

■ 議案質疑

【オンライン学習及びタブレット整備について】

《質疑》

国の指針に沿った補正予算が提案されており、オンライン学習の実施に向けた学校内LAN整備費用や小中学校の児童生徒一人一台のタブレットリース費が計上されているが、現実的なオンライン学習の開始時期はどのように想定しているのか。

《答弁》

校内LAN整備については、全小中学校の普通教室、理科室、体育館に加え、職員室、会議室、多目的室も本年度中の整備完了を予定するが、タブレット端末調達については、出来る限り努力はするものの、タブレット端末の年間供給量を勘案すると、小学校5・6年生と中学校1年生分を本年度中に調達し、残りは来年度中になることが現実的な試算である。

また、家庭とのオンライン学習実現には別に整理すべき課題があり、今年度は、学校内でのICTを活用した教育環境の整備を図っていく。

■ 【直方市持続化緊急支援交付金】

給付要件

中堅・中小法人及び個人事業者等で、「福岡県持続化緊急支援金」の支給認定を受けた者（医療法人、農業法人、NPO法人など会社以外の法人含む）のうち、法人市民税または市民税の納税地が、直方市である事業者。

給付額

一律10万円

※1事業者につき1回限りの給付となります。

※国の「持続化給付金」の受給者は対象外です。
また、直方市持続化緊急支援交付金受給後に国の「持続化給付金」を受給した場合においては、交付金を返還していただきます。



発行人：直方市議会議員 **安永 浩之**

連絡先：やすなが浩之市議会議員事務所

住所：直方市知古1丁目6番1号

メール：info@h-yasunaga.jp

電話：0949-28-8087

↑携帯電話転送で、いつでも相談を受け付けています。

バックナンバーは公式HPをご覧ください

ホームページ <http://h-yasunaga.jp>

やすなが浩之

検索



公式HP



Facebook



Instagram